

	事業名等	実施日	内容	開催回数・参加人数
理解促進	1 認知症サポーター養成講座	随時	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを多世代にわたり養成した。	42回 延1,832人 (内訳) 一般313人(13回) 中学生718人(6回) 小学生570人(12回) 幼児231人(11回)
	2 図書館との連携事業	令和4年9月17日	図書館に、認知症に関する書籍コーナーを設置。また、小学生の親子を対象に、敬老の日特別おはなし会を実施し、高齢者や認知症に関する絵本の読み聞かせを行った。	おはなし会参加者7人
	3 普及啓発イベント	令和4年9月13日～17日	9月の世界アルツハイマー月間に、地域全体に向けた普及啓発イベントを開催した。パネルや認知症の人の創作品、認知症の人や家族の声の展示、相談、講演会や出張認知症カフェなどを行った。また、子育て支援センターや学童保育所へ認知症の図書活用を依頼した。	展示515人、講演会92人、出張オレンジカフェ45人、体験159人、映画上映56人、相談会4人
	4 広報ほんじょう	令和4年9月号	介護する家族へのインタビュー内容や、介護事業所の協力を得て集めた本人の声を発信した。	
相談先の周知	1 地域包括支援センター、病院等の周知		地域包括支援センター、認知症サポート医、かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者の名簿、認知症疾患医療センターをホームページ上に公開、また認知症ケアパスの配布・活用により相談先を周知した。	
早期発見・早期対応・医療や介護	1 認知症初期集中支援事業	チーム員との意見交換会 令和5年2月 初期集中支援チーム検討委員会 令和5年3月	初期集中支援チームの適用事例1例あったが、支援途中で中止となった。検討委員会は、チームの活動状況、これまでの適用事例の現状について報告した。チーム員と認知症地域支援推進員との情報交換会を開催し、事例を通して情報交換を行った。	支援チーム活動1例 検討委員会1回 情報交換会1回
	2 認知症ケアパスの普及	随時	情報や内容の見直しを行った。個別相談、認知症サポーター養成講座などで配布し、周知を図った。	随時
	3 本庄市キャラバン・メイトの会	定例会 偶数月第木曜日 交流会 1回	メイトの会の協力を得て、認知症サポーター養成講座やステップアップ講座、イベント等の開催をした。メイトの会に出席し、現状把握や支援を行った。	キャラバン・メイトの会 5回 (8月休み) キャラバン・メイト交流会 1回 参加者15人 認知症地域支援推進員との意見交換 1回
	4 認知症ケア相談室	令和5年2月～	地域密着型サービス事業所に、専門的知識を活かした介護方法等の相談窓口を設置し、相談窓口の充実を図るとともに、地域包括支援センター等関係機関との連携・ネットワーク強化を図る。	地域密着型サービス事業所5か所に設置、相談件数3件
	5 認知症個別相談会	オレンジカフェと同日開催	認知症に関する市民からの相談に対応するため、地域包括支援センターに委託して、オレンジカフェと同日開催する。	相談件数6件
	6 認知症初期スクリーニングシステム	随時	認知症初期スクリーニングシステムにより、軽度認知障害に関する周知や早期発見、また認知症の相談窓口等の周知が期待できる。また、個別相談と併せて実施することで、早期対応につながる。	アクセス数延べ2,167人
	7 グループホーム情報交換会	令和4年7月20日、11月14日、令和5年3月14日	市内のグループホームの情報交換会を開催して横のつながりを支援するとともに、地域のネットワーク形成を図った。	開催回数3回、事業所数10箇所、参加延べ人数23人
介護者への負担軽減の促進	1 認知症カフェ(オレンジカフェ)	地域包括支援センター 月1回×5会場 隔月1回×1会場 任意団体 3会場	認知症の人や家族、地域住民や専門職が集う認知症カフェを市内9箇所(地域包括支援センター6箇所、任意団体主体3箇所)で実施した。任意団体については、地域包括支援センターが支援を行った。	地域包括支援センター(委託事業) 開催回数57回、参加延べ人数645人、ボランティア延べ141人  任意団体(補助事業) 3か所
	2 認知症家族の会本庄	毎月第4水曜日	認知症の人を介護する・していた家族が集う家族の会を開催した。	開催回数11回、参加延べ人数62人

地域支援体制の強化	1	ステップアップ講座	令和4年10月11日、18日、26日	認知症サポーターを対象に、認知症に関する理解を更に深め地域で活動するための講義、徘徊高齢者SOS模擬訓練、等を実施し、併せてボランティア登録の説明を行った。	3日間×1回 参加者数13人、延37人 ボランティア登録10人
	2	認知症サポーター意見交換会	令和4年4月21日、7月21日、10月20日、令和5年1月19日	ステップアップ講座を修了した登録サポーターの活動状況報告や意見交換、勉強会等を行った。	開催回数4回、参加延べ人数68人
	3	地域づくり推進事業		登録認知症サポーターや本庄市キャラバン・メイトの会、医療・介護の関係機関、地域の団体等と連携し協働で事業を実施しながら人材育成を行い、支援のマッチングを進め、ネットワーク形成と連携強化を図った。	

#### 取組の結果

・本庄市キャラバン・メイトの会や地域包括支援センターと協力・連携してメイトの人材育成を図り、認知症サポーター養成講座を開催しました。養成者数は1,937人で、過去最高の受講者数となっています。また、企業を対象に開催することができ、対象範囲が拡大しました。今後も地域の企業・団体、高校生を対象とした講座の開催を進めたいと考えます。

・ボランティア登録をした認知症サポーターについては、認知症普及啓発イベントへの協力、また地域包括支援センターに寄せられた相談者のニーズに対する支援を行うサポーターも少しずつ増えています。今後も登録認知症サポーターの活躍の場を作っていく必要があります。

・昨年度から開催を始めた認知症普及啓発イベントについては、介護保険事業所等の協力を得て、認知症の人本人の声を集め、発信しました。また、認知症サポーター、キャラバン・メイト、介護保険事業所、地域の関係者等と協働し、昨年度より規模を拡大して開催したところ、来場者数が増えています。

・グループホーム情報交換会を重ねる中で、地域の相談支援体制への理解・協力が得られ、令和5年2月から認知症ケア相談室が設置できました。

・令和5年度は、引き続き認知症の人の声を把握し事業への反映を検討するとともに、認知症の人や家族のニーズとサポーターをつなぐ仕組みづくりを目指し取組を推進します。